

2013年度高等学校重点目標案

◎ 民族教育に関して

- 生徒の国語力向上に対して、国語授業をより一層充実させるとともに、日常生活の中で国語使用機会を増やすように努める。
- 現代社会で、失われつつある礼儀や作法、また日常生活の中での挨拶や言葉遣いを、韓国伝統文化に関連させて指導の向上に努める。
- 国慶日の講話等の行事教育、国史・在日韓国人形成史の授業等を通じ民族意識・矜持の向上・定着に努める。

◎ 学習面に関して

- 生徒が日々の授業に興味・関心を持って参加できるように、授業準備・授業研究・教材研究に努める。
- 生徒の適性・能力を正確に判断し、より効果が期待できる学習指導方法の開発に努める。
- 学内に留まらず、学外からも生徒にふさわしい教育手法を積極的に取り入れて、生徒の学力の向上を図り進路保障に努める。
- 学習指導や進路に関する正確な情報を積極的に生徒や保護者に提供し、生徒の学習意識向上に努める。

◎ 人権意識に関して

- 生徒の人権意識の確立・向上のために、教職員が研修や研究会などに積極的に参加し研鑽を積むとともに、生徒の実態・行動を把握して、教職員が情報を共有し校内の人権意識向上に努める

◎ 学校生活に関して

- 学校生活でのルールや共同生活をする上でのマナーを守る指導を徹底する。
- 校内美化に対する意識を高め、教育環境の整備に努める。
- 公共物を大切に扱う気持ちを持たせる。

◎ 中高連携教育に関して

- 中高6年間のカリキュラム・年間行事などの研究を継続的に進める。
- 中高連携教育の推進を図り、より充実した方向性の模索に努める。

2013 학년도 고등학교 중점 목표

◎ 민족교육에 관하여

- 학생들의 국어력 향상을 위하여 국어수업을 한층 더 충실하게 하는 동시에 일상생활 속에서 국어사용 기회를 늘리도록 노력한다.
- 현대사회에서 상실되고 있는 예의범절, 또 일상생활 속에서의 인사나 말씨를 한국 전통문화와 관련되도록 지도력 향상을 위해 노력한다.
- 국경일 관련 강의 등의 행사교육, 국사·재일 한국인 형성사의 수업을 통해 민족의식·공지의 향상·정착을 위해 노력한다.

◎ 학습면에 관하여

- 학생들이 매일 수업에 흥미·관심을 가지고 참여할 수 있도록 수업 준비·수업 연구·교재 연구를 위해 노력한다.
- 학생의 적성·능력을 정확하게 판단하고 보다 큰 효과를 기대할 수 있는 학습 지도 방법의 개발을 위해 노력한다.
- 학교 내에서 만이 아니라 학교 밖에서도 으뜸이 될 수 있도록 학력 향상을 위해 적극적으로 노력한다.
- 학습 지도나 진로에 관한 정확한 정보를 적극적으로 학생이나 학부모에게 제공하여 학생의 학습 의식 향상을 위해 노력한다.

◎ 인권의식에 관하여

- 학생의 인권의식 확립·향상을 위해서 교직원이 연수나 연구회 등에 적극적으로 참가해 탐구하는 동시에 학생의 실태·행동을 파악하고 교직원 간의 정보 공유를 통해 교내 인권의식 향상을 위해 노력한다.

◎ 학교생활에 관하여

- 학교생활의 규칙이나 공동생활을 하는데 필요한 매너를 지키는 지도를 철저히 한다.
- 교내 미화에 대한 의식을 높이고 교육환경 정비에 힘쓴다.
- 공공기물을 소중히 다루는 마음을 키운다.

◎ 중고 연계 교육에 관하여

- 중교 6년간의 교육 과정과 연간 행사 등의 연구를 지속적으로 진행한다.
- 중고 연계 교육의 추진과 더불어 그 성과를 검증하여 충실히 할 수 있는 방향을 모색하기 위해 노력한다.

◎ 民族教育に関して

取り組み状況

韓国語能力向上のために、日常生活での韓国語使用頻度を高めるよう促し、韓国語能力試験を年一度は必ず受験するよう義務付けた。

達成状況

韓国語能力向上の達成度は、概ね目標の半ば程度であると認識し、まだまだ向上の余地が残されている。

今後の改善策

- ・ 4 クラスの完全能力別クラス編成を行い、一人ひとりの生徒にきめ細かい指導による能力の伸長と定着を図る。
- ・ 韓国語単語能力試験を学期に 1 回、年に 3 回実施。1 学期に 1 級の進級を目指す。
⇒ 不合格者に対しては補習を行い、学期内に確実に合格させていく。
- ・ 校内、校外の弁論大会の積極的参加を全員参加型で行う。
- ・ 高校 2 年生時に韓国語の 4 技能（「話す」「聞く」「読む」「書く」）の進級試験を実施し、能力の確実な伸張を図る。
- ・ ネイティブの教師を配置し、「話す」「聞く」「読む」「書く」のそれぞれの能力においてバランスのとれた国語教育を目指す。
- ・ ネイティブの教師を配することにより、言葉の奥にある文化を最新の情報とともに学ぶ。
- ・ 韓国文化コースをはじめとして、日本の大学のみならず、韓国の大学への現役合格と、現地でも語学学校に通うことなく学習ができることを目指す。
- ・ 韓国語能力検定試験の受検を義務づけ、意欲と目標を持って学習する環境を整える。
- ・ 韓国文化コースでは、現地訪問による短期型の語学研修を行い、目的意識を高め、積極的に学習する姿勢を養う。

2013年度 建国高等学校学校自己評価（生徒および教員）												
A:よくあてはまる		B:ややあてはまる		C:あまりあてはまらない		D:まったくあてはまらない		教師自己評価は4段階で表記				
番号	設問	生徒集計結果								教員		
		A	B	C	D	A	B	C	D	A+B	C+D	自己評価
1	本校創立の精神と歴史を理解している。 本校 창립 정신과 역사를 이해하고 있다.	34	49	13	9	32%	47%	12%	9%	79%	21%	3.3
2	本校の教育理念・目標を理解している。 本校의 교육이념과 목표를 이해하고 있다.	29	45	20	11	28%	43%	19%	10%	70%	30%	3.6
3	学校に誇りを持っている。 학교에 대한 긍지를 가지고 있다.	27	55	13	10	26%	52%	12%	10%	78%	22%	3.6
4	毎時間の授業に集中できている。 수업 시간마다 집중하여 최선을 다하고 있다.	19	53	23	11	18%	50%	22%	10%	68%	32%	2.5
5	授業は工夫されていてわかりやすい。 수업은 잘 연구하여 가르치고 있으며 이해가 잘 간다.	12	48	32	13	11%	46%	30%	12%	57%	43%	2.9
6	授業のわからないところなどについて質問しやすい環境である。 수업 중 모르는 부분이 있을 때 질문하기 쉬운 환경이다.	24	50	20	12	23%	47%	19%	11%	70%	30%	3.6
7	進路に関する情報は、十分に手に入れることができる。 진로에 관한 정보는 충분히 얻을 수 있다.	30	43	21	12	28%	41%	20%	11%	69%	31%	4.0
8	進路希望に応じた授業を選択することができる。 진로 희망에 맞는 수업을 선택할 수 있다.	20	38	29	18	19%	36%	28%	17%	55%	45%	2.5
9	進路に関する相談をしやすい環境である。 진로에 관한 상담을 하기 쉬운 환경이다.	32	39	26	9	30%	37%	25%	8%	67%	33%	4.0
10	学校行事は充実していて楽しい。 학교행사는 알차고 즐겁다.	38	46	13	8	36%	44%	12%	8%	80%	20%	3.6
11	学校行事は、中高の6年間を通して適切に配置されている。 학교행사는 중・고 6년 간을 통틀어 적절하게安排되어 있다.	25	47	25	8	24%	45%	24%	8%	69%	31%	2.9
12	教師の指導は校則に従って適切に行われている。 교사의 지도는 학교규칙에 따라 적절하게 수행되고 있다.	26	44	25	10	25%	42%	24%	10%	67%	33%	3.6
13	教師は生徒の人権を尊重した態度で生徒に接している。 교사는 학생의 인권을 존중하는 마음으로 학생을 대한다.	20	48	27	10	19%	46%	26%	10%	65%	35%	3.3
14	教師は生徒一人ひとりの性格や長所・短所をよく把握している。 교사는 학생 한 사람 한 사람의 성격이나 장・단점을 잘 파악하고 있다.	17	38	37	12	16%	37%	36%	12%	53%	47%	3.3
15	悩みや相談を話しやすい環境である。 고민을 말하거나 상담을 하기 쉬운 환경이다.	20	39	29	17	19%	37%	28%	16%	56%	44%	2.9
16	学校生活の中できちんとあいさつをしている。 학교생활 안에서 인사를 제대로 하고 있다.	50	41	12	2	48%	39%	11%	2%	87%	13%	3.3
17	目上の人にていねいな言葉遣いをしている。 윗사람에게 공손한 말씨로 말하고 있다.	44	42	14	5	42%	40%	13%	5%	82%	18%	2.9
18	校内の美化・清掃に積極的に取り組んでいる。 교내 환경미화와 청소에 적극적으로 참여하고 있다.	23	58	16	8	22%	55%	15%	8%	77%	23%	1.8
19	校内の施設・備品を大事に使っている。 교내의 시설과 비품을 소중히 사용하고 있다.	34	48	16	5	33%	47%	16%	5%	80%	20%	1.1
20	民族教科（国語・国史等）に熱心に取り組んでいる。 민족교과(국어・국사 등)를 열심히 하고 있다.	35	46	16	8	33%	44%	15%	8%	77%	23%	3.3
21	国語の学力が伸びていることを実感できる。 국어 실력이 향상하는 것을 실감할 수 있다.	35	44	17	10	33%	42%	16%	9%	75%	25%	4.0
22	記念講話などで話される内容をよく理解できている。 기념훈화 때 그 내용을 잘 이해할 수 있다.	26	45	20	14	25%	43%	19%	13%	68%	32%	2.5
23	教職員の国語能力は十分である。 교직원의 국어 능력은 충분하다.	23	55	20	7	22%	52%	19%	7%	74%	26%	2.2
1～3の結果・・・生徒たちは肯定的に考えている割に、教員の意識が比較的低い。生徒への指導は教員自らが行うものであるから教員の意思の向上がこの項目では大切である。継続した教員の努力を行う雰囲気作りを行わなければならない。												
4、5の結果・・・前回と同様にこの項目の結果が生徒も教員も肯定的な意見が少ない結果である。生徒たちにとって分かりやすい授業は教員にとっても重要課題である。教員は研究会、研修会、情報交換会に参加し、研鑽を積み、授業力の向上に努めなければならない。												
6、7、9の結果・・・この項目で前回と同様な結果が出たことは喜ばしい結果であり、一定の評価に値すると判断する。今まで取り組んできた成果が、一つの結果として現れている。この項目は大変重要な項目であるから、今後ともきめ細やかな指導ができるよう努力を続ける必要がある。教員間の意思疎通を強化して今後も取り組まなければならない。												
8の結果・・・今回も大変良い結果となった。生徒のニーズに合わせたカリキュラムの改善等を行っているが、生徒の多岐に渡る希望に応える努力をいかに実現するかを今後とも研究する必要がある。												
10、11の結果・・・行事教育は教育活動の1つの柱であり、知・育・体の健全な教育のために、今後とも良い結果が得られるように努力と研究が必要である。生徒たちの意識がさらに向上するように内容を精査して充実を図って行きたい。												
12～15の結果・・・14・15の項目で生徒の評価が低いことは注視しなければならない。教員側の思い過ごし、一方通行の指導の終わっている可能性が考えられる。教職員の意識統一を進め、教育環境の改善をさらに目指していく必要がある。												
18、19の結果・・・2つの項目について、教員の評価が大変低い結果になった。この項目は学校教育のみならず社会教育としても重要な部分であるため、しっかりと取り組みを行う必要がある。日々の校内清掃活動や地域社会と協力して地域の清掃活動にも参加することで生徒たちの意識改革に動めなければならない。												
20～23の結果・・・本校の存在意義にかかわる内容で、半数ほどの生徒が肯定的回答を出しているが、学校の性質上、肯定的な意見が高くなるように、今後の指導の重点課題の1つとして取り組まなければならない。												
集計結果から、生徒は学校生活を昨年に比較してより肯定的に感じていると判断できる結果になった。しかし、今回も高ポイントの意見は多くなく、まだまだ改善の必要がある。また、教職員は肯定的な考え方の部分もあるが、大変低い評価の項目もあることは残念な結果である。これは、指導者側の一方的な「思い込み指導」の可能性は否定できないことになる。												
教職員の指導方法が生徒たちの現状を的確に把握し、生徒の思いを理解し、より良い方向に指導していく努力がより一層必要であり、このことを最優先として教職員は取り組むことが大切である。今後は、生徒一人ひとりの学力・進路を保証する努力、生徒がより安全で有意義な学校生活を確保するための努力を行い、そのためには、家庭・学校が生徒の実情に関して情報を共有し、連携して教育に取り組むことが重要である。												
3												

○1～3の結果・・・生徒たちは肯定的に考えている割りに、教員の意識が比較的低い。生徒への指導は教員自らが行うものであるから教員の意思の向上がこの項目では大切である。継続した教員の努力を行う雰囲気作りを行わなければならない。

○4、5の結果・・・前回と同様にこの項目の結果が生徒も教員も肯定的な意見が少ない結果である。生徒たちにとって分かりやすい授業は教員にとっても重要課題である。教員は研究会、研修会、情報交換会に参加し、研鑽を積み、授業力の向上に努めなければならない。

○6、7、9の結果・・・この項目で前回と同様な結果が出たことは喜ばしい結果であり、一定の評価に値すると判断する。今まで取り組んできた成果が、一つの結果として現れている。この項目は大変重要な項目であるから、今後ともきめ細やかな指導ができるよう努力を続ける必要がある。教員間の意思疎通を強化して今後も取り組まなければならない。

○8の結果・・・今回も大変厳しい結果となった。生徒のニーズに合わせたカリキュラムの改善等を行っているが、生徒の多岐に渡る希望に応える努力をいかに実現するかを今後とも研究する必要がある。

○10、11の結果・・・行事教育は教育活動の1つの柱であり、知・育・体の健全な教育のために、今後も良い結果が得られるように努力と研究が必要である。生徒たちの意識がさらに向上するように内容を精査して充実を図を図って行きたい。

○12～15の結果・・・14・15の項目で生徒の評価が低いことは注視しなければならない。教員側の思い過ごし、一方通行の指導の終わっている可能性が考えられる。教職員の意識統一を進め、教育環境の改善をさらに目指していく必要がある。

○18、19の結果・・・2つの項目について、教員の評価が大変低い結果になった。この項目は学校教育のみならず社会教育としても重要な部分であるため、しっかりとした取り組みを行う必要がある。日々の校内清掃活動や地域社会と協力して地域の清掃活動にも参加することで生徒たちの意識改革に努めなければならない。

○20～23の結果・・・本校の存在意義にかかわる内容で、半数ほどの生徒が肯定的回答を出しているが、学校の性質上、肯定的な意見が高くなるように、今後の指導の重点課題の1つとして取り組まなければならない。

集計結果から、生徒は学校生活を昨年に比較してより肯定的に感じていると判断できる結果になった。しかし、今回も高ポイントの意見は多くなく、まだまだ改善の必要がある。また、教職員は肯定的な考え方の部分もあるが、大変低い評価の項目もあることは残念な結果である。これは、指導者側の一方的な「思い込み指導」の可能性は否定できないことになる。

教職員の指導方法が生徒たちの現状を的確に把握し、生徒の思いを理解し、より良い方向に指導していく努力がより一層必要であり、このことを最優先として教職員は取り組むことが大切である。今後は、生徒一人ひとりの学力・進路を保证する努力、生徒がより安全で有意義な学校生活を確保するための努力を行い、そのためには、家庭・学校が生徒の実情に関して情報を共有し、連携して教育に取り組むことが重要である。

2014 年 3 月 12 日

学校法人白頭学院

理事会・評議会 貴下

学校法人 白頭学院
建国高等学校
学校関係者評価委員会

2013年度 学校関係者評価

○学校関係者評価実施について

- ・ 日時：2014 年 3 月 12 日
- ・ 場所：白頭学院 会議室
- ・ 学校関係者評価委員会人員構成(参加者)： 4 名 金愛子（PTA 高校会長）
高利文（PTA 高校副会長）
徐忠文（PTA 高校副会長）
李鐘建 （ 高校教頭 ）

○学校関係者評価内容

：生徒・保護者のアンケート並びに、教員による自己評価を踏まえ作成された学校の自己評価に対して、その妥当性を評価し、また、改善法案などの意見交換を実施。

・ 学校の自己評価に関して

今年度の生徒アンケート調査は、初めてすべての項目において、生徒が本校での学校生活を肯定的に考えているという結果が出た。この要因は昨年度の反省から、学校関係者評価の「改革案」として挙げた 7 項目のうち、3 項目の「教員間の意見交換と情報の共有の強化」、「生徒と教員のコミュニケーション機会の増加と効率化」、「多様な生徒指導の実践」の効果の表れでもあり、何よりも生徒たち自身の学校生活に対して積極的に、前向きに、意欲的に行動したものによると判断できる。

その一つの成果として、今年の韓国や日本の大学への高い進学率にみることができる。生

徒がこれまで受けた教育内容から、自己にあった目標大学を決め、進学対策を打ちたてると
いう一見どの学校にも見られる光景であったが、韓国・日本の大学説明会、大学見学会、大
学教授による講演会、職業別ガイダンスなどの本校独自の指導が開始された。生徒の「自主
的な学習」を尊重しつつも、教師は常にフィードバックさせながら、時としてマンツーマン
で指導が展開される。それは「大学入試の試練」というよりも「人格形成への鍛錬」という
言葉がふさわしいほど、生徒と教師、互いの葛藤が展開された。

そして、その努力の量に比例するかのような結果が現われた。本校は小規模校である為、
この高校3年生の受験の雰囲気は全校が知ることになり、下級生の学習意欲にも変化を与え
ることになった。1学期中旬からはじまったこの入試対策は、学校全体にピンと張り詰めた
「緊張感」をもたらした。先に挙げた「改革案」の3項目は、この入試指導で確実に実践さ
れ、そこで生まれた学校全体の「緊張感」が生徒たちの学校生活に良い影響を及ぼしたと判
断できる。そして、この「緊張感」は、2年生の修学旅行の英語実践活動の成果や、フィリ
ピン・韓国への短期留学などの積極的な活動にもつながっていったと考えられる。

しかしながら、肯定的なアンケート結果に反するような残念な行動も見られた。校内の施
設や備品を大切に扱わない行為が多発し、生徒たちの校内美化に対する意識も低下している。
この件には、長い時間をかけて地道な指導が必要であるが、大学入試という言葉ば人生の進
路が決まる最高の緊張感の真っ只中でその副産物の「ストレス」が原因で、それを間違っ
た方向に向けた結果であろう。ストレスの副産物は、学校という教育現場では十分に予想で
きるものである。この意味で教員側に指導の弱点があったことは否めず、反省しなければならない。
生徒の心の動揺の兆しを見逃したり、一方的な指導で済ませたり、指導を諦めたりな
どがなかったか等を検証する必要がある。指導に当たる担当教員やクラス担任を含めて、家
庭との連絡を密にし、さらには学校カウンセラーともよく協議した上で生徒の指導を万全に
しなければならない。

多感な時期のさまざまな環境で育った生徒たちが、本校で安心して学校生活を続けるため
には、指導方法は一つではなく、多岐にわたることは当然である。また、生徒たちも日々変
化する社会環境の中で自己を見つけ、自己を磨き、自己に挑戦している。指導する側とされ
る側の関係は社会変化のスピードから見ると複雑化するの自然だが、その根本は単純であ
る。それは「心と心の通い合い」であろう。学校では「気になる生徒」を総合的な観点から
指導することは自然な流れであるが、学校は「生徒を気にかける」指導者の集団であること
を改めて意識付けたい。そのためには、生徒の指導は家庭・学校が生徒の実情に関して情報
を共有し、連携して教育に取り組むことの重要性を物語っている。今後とも保護者の協力を
得ながら生徒の指導にあたりたい。

・改善案

- ・生徒個々に対応する総合的学習指導の強化と学習意欲向上に向けた取り組みの実施。
- ・教員間の研究授業による効果的授業方法の開発。
- ・教員間の意見交換と情報の共有のための研究と効率化。
- ・生徒の心のケアを目的とするコミュニケーション機会の増加と有効的な実施の研究。
- ・多様な生徒指導の実施と効率化の研究。
- ・生徒の校内美化の強化と対策の研究。
- ・カウンセラーの有効的利用の研究。

・総 括

全体的に、今年度も生徒たちの学校生活が肯定的であるが、近年、小学校・中学校・高校とクラス内での「いじめ」などが、メールやインターネットなどにより陰湿、多様化しつつあるなかで、やはり教育者側の個々のきめ細やかなメンタル面の個別相談・カウンセリングなどが必須であるように見うけられる。

また、今年度は韓国の大学への高い進学率が学校の成果としてあげられるが、今後もこの様に母国に対する期待と生徒たちの進学意欲が増す中で、大学進学後も国内の教育についていけるだけの学力と生徒、教員両方の韓国語教育の徹底化と民族教育、歴史教育の取り組みが重要である。